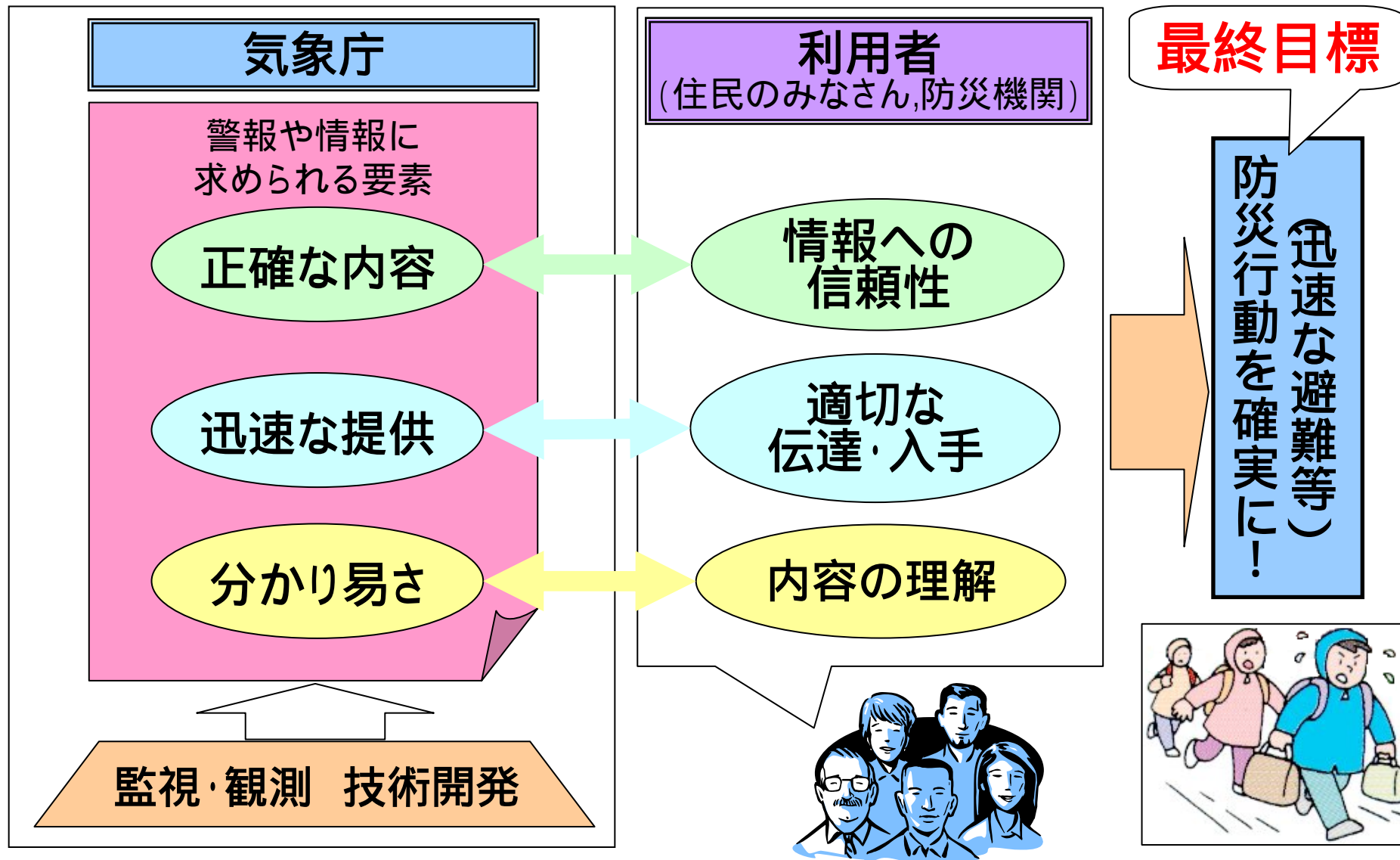


< Plan > 施策立案にあたっての基本的な考え方

地震・津波・火山の現象は、発生から災害に至るまでの時間(リードタイム)が短く避難等の防災行動を迅速かつ的確にとることが必要不可欠



< Doその1 > 緊急地震速報の取り組み (平成19年度まで)

～平成18年度

特定分野における
緊急地震速報の
実用化

一定の目処

正確な内容
迅速な提供

緊急停止
システム始動!



エレベータや
電車の自動制御

平成19年度

緊急地震速報の実用化

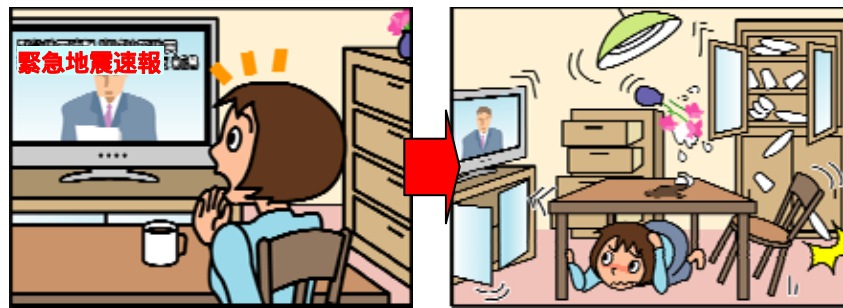
分かり易さ

法律改正

・より確実な提供、無用の混乱を防止

緊急地震速報「利用の心得」

周囲の状況に応じて、あわてず
に、まず身の安全を確保する



関係省庁、報道機関等の協力を得て、
徹底した周知・広報を実施

平成19年10月1日
一般提供開始

平成19年12月1日
予報警報に位置づけ

平成19年9月調査

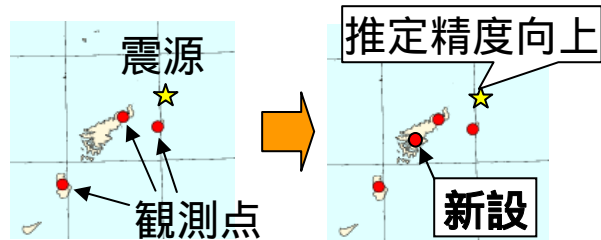
・緊急地震速報の名前を知っている: 61%

< Doその2 > 緊急地震速報の取り組み (平成20年度～)

平成20年度～

「緊急地震速報」の精度向上

- ・震度観測値を用いて、震度の予測計算の精度を向上
- ・島嶼部の地震観測点を増設



いっそう

正確な内容
迅速な提供

緊急地震速報

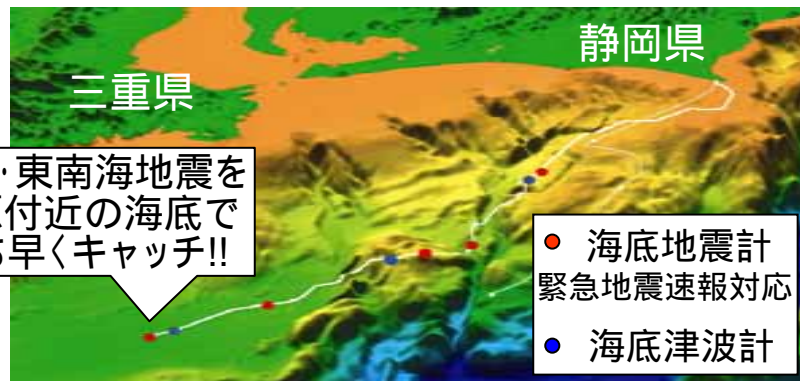
伊豆諸島、南西諸島周辺海域の地震の速報が迅速化

速報の精度が向上

東海地震、東南海地震などに対する速報がより迅速に、かつ精度が向上

ケーブル式海底地震計整備

- ・東海・東南海地震の想定震源域に緊急地震速報に対応した地震計を整備、精度向上・迅速化へ(平成20年秋に運用開始予定)。



< See > 緊急地震速報に関する事後検証

